

産婦人科（生殖医療）

1. 概要

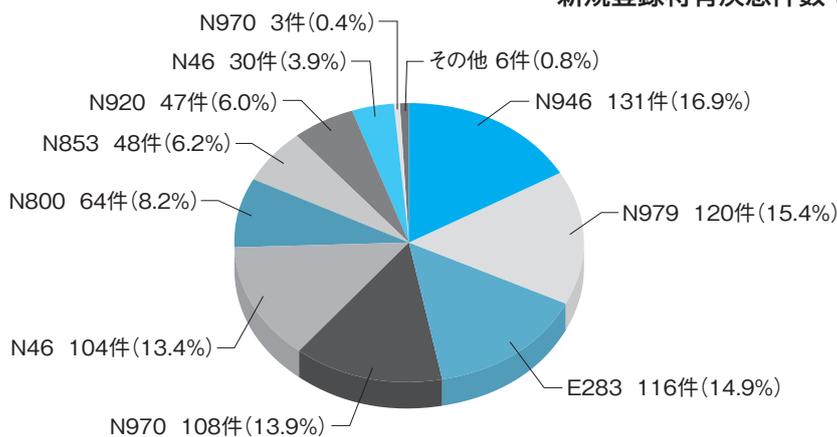
世界に先駆けて全受精卵への臨床応用を開始したタイムラプス胚培養も9年目となり、多胎防止を含む生殖補助医療の質的維持を今年も達成できた。国内外の学会での新知見発表には聴衆も多く集まり、若手産婦人科医師や臨床検査技師のモチベーションを高めている。矢吹医師が、日本不妊カウンセリング学会で優秀賞を受賞した。

2015年は、生殖医療で思うような結果が出ない事の背景としての肥満・痩せへの着目を高め、健康な体作りは安全妊娠への必要条件であることの患者さん向け教育を徹底した。難治性の患者さんが当院に集中するという理想的な傾向は続いている。このような患者さんが繰り返し治療を行い見かけ上の数値を低く抑えているが、他院での不成功例がすんなり成功するなど、スタッフが技術の高さを確認できる機会も多かった。頻回不成功例に肥満や痩せが多いことにも着目し、妊娠分娩の安全性や生涯の健康増進にもつながる健康な体作りを推進した1年でもあった。

(部長 安藤 寿夫)

2. ICD-10による疾患別頻度

新規登録特有疾患件数：777件



ICD-10 分類
N946：月経困難症
N979：女性不妊症
E283：卵巣機能不全
N970：排卵障害
N46：男性不妊症
N800：子宮腺筋症
N853：子宮退縮不全
N920：過多月経
N46：精子減少症
N970：卵巣性不妊症

3. 活動報告

(1) 生殖補助医療

2015年	刺激周期数	体外受精数	内、顕微授精	新鮮胚移植	妊娠	融解胚移植	妊娠
1月	26	23	12	15	4	12	2
2月	26	24	12	18	5	11	2
3月	15	13	9	7	2	17	6
4月	18	16	10	5	1	9	0
5月	27	24	17	18	11	7	1
6月	29	24	15	11	2	9	2
7月	30	25	14	12	1	8	3
8月	19	16	11	10	2	4	0
9月	26	25	12	20	3	8	4
10月	22	19	12	8	1	4	0
11月	21	21	7	13	3	11	2
12月	25	24	17	12	0	7	1
計	284	254	148	149	35	107	23
妊娠率					23.5%		21.5%

多胎は0例。異所性妊娠0例。

生殖医療の成績データは、症例背景など医療機関により異なる要素が多いことから、他の医療機関との単純な比較をすべきではないと付記することが、米国では義務付けられています。

(2) 不妊症妊娠例（カッコ内は多胎妊娠例）（件）

体外受精－新鮮胚移植	37 (0)
融解胚移植	25 (0)
排卵誘発	10 (2)
人工授精	9 (1)
習慣流産	4 (0)
タイミング法・その他	29 (1)
計（重複例を除く）	100 (2)

学会発表（医局）

<産婦人科（生殖医療）>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	妊娠中に発症した特発性副腎出血の1例	筆頭演者	北見 和久	第135回東海産科婦人科学会	2015/2/22
2	一般不妊治療での多胎防止をめざす当施設6年間の成績と新規自己注射排卵誘発法の考案	筆頭演者	安藤 寿夫	第67回日本産科婦人科学会学術講演会	2015/4/12
3	単胚移植単胎分娩の周産期予後は新鮮胚と凍結胚で母児共に異なる	筆頭演者	矢野 友貴	第67回日本産科婦人科学会学術講演会	2015/4/12
4	新規指標を用いたGnRH (LH-RH) テストの調節卵巣刺激への応用	筆頭演者	甲木 聡	第67回日本産科婦人科学会学術講演会	2015/4/12
5	A Novel Factor in the Higher Birthweights of Neonates Conceived through Frozen Embryo Transfer	筆頭演者	Seiko Matsuo	IFFS/JSRM International Meeting 2015	2015/4/26
6	Presentation of Time-Lapse Video of the Transferred Embryo to the Subject by an Embryologist	筆頭演者	Noriko Suzuki	IFFS/JSRM International Meeting 2015	2015/4/26
7	Increased Severe Maternal Complications through Frozen Embryo Transfer	筆頭演者	Yuki Yano	IFFS/JSRM International Meeting 2015	2015/4/26
8	水分摂取自己制限が増悪要因となった卵巣過剰刺激症候群の1例	筆頭演者	矢吹 淳司	第14回日本不妊カウンセリング学会学術集会	2015/5/29
9	当院における精子凍結保存の現状と課題	筆頭演者	安藤 寿夫	第14回日本不妊カウンセリング学会学術集会	2015/5/29
10	がん生殖における当院の課題	筆頭演者	安藤 寿夫	第37回中部生殖医学会学術集会	2015/6/6
11	GnRH (LH-RH) 負荷試験を用いて考案した指標の、GnRHアゴニストプロトコールへの応用	筆頭演者	甲木 聡	第18回日本IVF学会学術集会	2015/9/26
12	新鮮胚移植後生児を得た周期の余剰凍結胚での次子獲得予測の検討	筆頭演者	植草 良輔	第18回日本IVF学会学術集会	2015/9/26
13	当院における最近の難治性拳児希望子宮内膜症の2症例	筆頭演者	安藤 寿夫	第102回愛知産科婦人科学会学術講演会	2015/10/3
14	Mysterious missing link of placental-birth weights associated with fresh or frozen-thawed embryo transfer	筆頭演者	Yoshiki Ikeda	The 11th World Congress of the European Society of Gynecology	2015/10/22
15	Maternal risks at delivery linked to cryopreserved embryo transfer: a single institute retrospective study	筆頭演者	Hisao Ando	The 11th World Congress of the European Society of Gynecology	2015/10/22
16	Eight Monozygotic Twin Series of Various Types of Chorionicity and Amniosity after Single Embryo Transfer Based on the Time-Lapse Observation	筆頭演者	Hisao Ando	The 11th World Congress of the European Society of Gynecology	2015/10/22
17	Combination Method of Laparoscopic Sacrocolpopexy with an Anterior Mesh and Posterior Colpoperineoplasty for Pelvic Organ Prolapse	筆頭演者	Yoshiki Ikeda	The 11th World Congress of the European Society of Gynecology	2015/10/22
18	凍結胚移植による出生児が大きくなる原因の検討	筆頭演者	松尾 聖子	第33回日本受精着床学会総会・学術講演会	2015/11/26
19	ヒト凍結精子による生殖医療	筆頭演者	安藤 寿夫	2015年度日本生殖工学会学術集会 シンポジウム	2015/12/13

研究会発表（医局）

<産婦人科（生殖医療）>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	Freeze-all回避をPriorityとする当院の胚移植方針	筆頭演者	安藤 寿夫	第15回産婦人科内分泌研究会	2015/7/18

座長・司会（医局）

<産婦人科（生殖医療）>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	個別化調節卵巣刺激のオリジナルアイデア～Update on Update～	河井 通泰	豊橋生殖医療 Update2015	2015/2/28
2	若年がん患者のがん治療と妊孕性について～岐阜県での取り組み～	河井 通泰	豊橋生殖医療 Update2015	2015/2/28
3	これからの生殖補助医療～Time-lapse 胚培養システムの将来性～	安藤 寿夫	豊橋生殖医療Update2015	2015/2/28
4	Oral Session2:Award Nominated Presentations 2	Hisao Ando	IFFS/JSRM International Meeting 2015	2015/4/26
5	シンポジウム：高品質胚生産のための体外培養系の確立に向けて	安藤 寿夫	第60回日本生殖医学会学術講演会	2015/4/27
6	「がんと生殖」の連携と協働を考える	安藤 寿夫	第14回日本不妊カウンセリング学会学術集会	2015/5/29
7	多嚢胞性卵巣症候群に対する治療戦略～手術療法と体外受精・胚移植を中心にして	安藤 寿夫	第三回東三河産婦人科フォーラム	2015/6/27

講 演 (医局)

<産婦人科 (生殖医療) >

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	個別化調節卵巣刺激のオリジナルアイデア～Update on Update～	安藤 寿夫	豊橋生殖医療Update2015	2015/2/28
2	豊橋市民病院のめざす生殖医療	安藤 寿夫	第13回岐阜ARTセミナー	2015/7/11

論文・著書 (医局)

<産婦人科 (生殖医療) >

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	早発閉経、早発卵巢不全	著者 分担執筆	安藤 寿夫	今日の治療指針 2016 私はこう治療している TODAY'S THERAPY. 2015, p.1301-1302.
2	自己判断での水分摂取自己制限後に卵巢過剰刺激症候群が増悪して入院となった1例—文献的考察を加えて—	筆頭著者	矢吹 淳司	日不妊カウンセリング会誌. 2015; 14: 185-189.